

# 令和7年10月安芸市教育委員会定例会議 議事録

## 開会および閉会

令和7年10月30日 8時55分開会 9時47分閉会

安芸市役所第7会議室

## 出席委員の氏名

教育長職務代理者 森尾 昭博

教育委員 ○山村 泰秋 ○中屋 恵美

※○印は署名委員

## 委員を除く出席者

学校教育課	大坪 浩久	教育次長兼学校教育課長
	樋口 雅文	学校教育課長補佐兼学校給食センター所長
	篠原 博之	指導主事
	西内 拓也	学校教育係長
	蔭山 智代	学校教育係主査
生涯学習課	藤田 隆史	生涯学習課長兼少年育成センター所長 兼女性の家館長兼図書館長
	濱渦 美智	課長補佐兼文化財係長
	近森 敦子	生涯学習課長補佐兼市民館長
	山本 翠	生涯人権学習係主査
教育研究所	安養寺 仁	教育研究所長

## 議事の経過

開会 8時55分

開会挨拶 教育長職務代理者

### (諸般の報告について)

※諸般の報告(10月)に沿って報告

#### (学校教育課)

○篠原指導主事

10月は市内の多くの学校で運動会が行われた。

10/17に安芸市芸西村小学校陸上記録会を行った。

○大坪教育次長兼学校教育課長

10/3に9月議会が閉会した。

10/7～10/10に学校訪問を行い、人事異動に関して教職員と面談をした。通常は教育

長と教育次長で訪問するが、教育長不在のため教育次長と学校教育課長補佐で訪問している。

○西内学校教育係長

10/3、10/31 に部活動検討委員会という部活動を地域展開していくための検討会を開催した。第1回を8/27に開催している。

**(生涯人権学習係)**

○山本生涯人権学習係主査

10/9国際音楽交歓コンサートを行った。404名が来場者し、会場の1階がほぼ埋まる状態であった。

10/19に安芸市芸能祭を開催した。出演団体は11団体、来場者は171名だった。

○山本生涯人権学習係主査

10/4に童っ子を開催し、5名の参加があった。

**(スポーツ振興係)**

○藤田生涯学習課長兼少年育成センター所長兼女性の家館長兼図書館長

10/23にタートルマラソンの実行委員会を開催した。申し込みが991名と前年から約100名増加している。

10/31には阪神タイガース空港セレモニーを行う。

**(文化財係)**

○濱渦課長補佐兼文化財係長

特別展「生誕100年 吉田左源二」を行っている。

10/9から連携展阪神タイガース展を開催し、監督の若いころのグッズなどを展示する。

10/11から「特別展南海太郎朝尊 刀剣乱舞 ONLINE 連携展」が開始し、主に刀を展示している。

10/12は開館記念日のため入館料を無料としており、120名の来館があった。

10/26から書道美術館で連合選抜書展が行われている。

**(女性の家)**

○山本生涯人権学習係主査

10/16に高知県連合婦人会スポーツ大会が春野運動体育館で行われた。

**(市民館)**

○近森生涯学習課長補佐兼市民館長

10/27に西浜公民館地区意見交換会・まちづくり懇談会が行われた。23名の参加があった。

10/14 にいきいき百歳体操交流大会が開催された（貸館）。86名の参加があった。

#### （少年育成センター）

##### ○山本生涯人権学習係主査

10/18に子ども会ファミリー釣り大会を開催し、約40名の参加があった。

10/23にスクールガードリーダー養成講習会を行い、22名の参加があった。

10月の不審者情報はなし。

#### （教育研究所）

##### ○安養寺所長

9月のふれあい教室の通室人数は小学生28名、中学生21名、合計49名であった。

10/3～10/9に学校訪問を行った。

10/5に奈比賀地区運動会があり、ふれあい教室の子どもも参加し地域住民と交流をした。

10/17に安芸中学校に関西国際大学中尾先生の訪問研修を行った。今回は見ていただきたい生徒を学校側で指定して、支援方法についてご指導いただいた。

9/18に野生塾「タイの文化と料理」を実施した。スタッフを含め約40名の参加があった。

#### （諸般の報告に対する質問及び討論の要旨）

##### ○森尾委員

部活動検討委員会ではどういった意見が出ているか。

##### ○西内学校教育係長

第1回では県の担当者を招いて、部活動の地域移行の概要についてお話しいただいた。第2回で具体的な話を行おうとしたものの、課題が多く難しいという話になった。そのため、まだ具体的な話は進んでいない状態である。

#### （行事予定について）

※各自、行事予定表を確認

##### ○山本生涯人権学習係主査

11/8から市展の会期が始まる。表彰式を11/9に行うため、教育委員2名に授与者として参加を依頼する。

##### ○森尾委員

山村委員と私が参加します。

##### ○濱渦課長補佐兼文化財係長

11/26から「ハレの日めでたきモノたち」の展示が始まる。

○大坪教育次長兼学校教育課長

12/4 に 12 月議会が開会する。教育長がまだ不在のため、12 月議会には森尾委員に出席をお願いする。

○藤田生涯学習課長兼少年育成センター所長兼女性の家館長兼図書館長

12/14 にターゲットマラソンを開催する。

**(行事予定に対する質問及び討論の要旨)**

特になし

**(その他)**

○樋口学校教育課長補佐兼学校給食センター所長

二地域居住や地方移住の促進を目的とした取り組みとして、徳島県がデュアルスクールを推進している。区域外就学制度を活用した、短期間の転校により、住民票の異動をすることなく他地域の公立小中学校への学籍異動、通学ができる制度である。一時的な転校をすることになるので欠席扱いにならない。

この取り組みについて、市長ヒアリングで話があった。

徳島県の事例としては、対象となる児童は、小学 1 年生～中学 2 年生である。また、期間としては、2 週間以上の短期間の通学を想定している。徳島県では、この制度に合わせて講師の派遣なども行って態勢を整えている。

市長ヒアリングでは、情報収集して実現できるような提案をするよう言われている。今後徳島県をモデルに課題の解消をどうしていくか、検討していく。

○山村委員

県単位でやる事業だが、子どもの異動による児童生徒数の変動による教員配置などにはどう対応するのか。

○樋口学校教育課長補佐兼学校給食センター所長

まだ、検討しきれていない部分ではあるが、学級編制を考慮した受入校の選定になるかと思う。

○山村委員

学級編制に合わせて教員確保にうまく利用しようとするところもあるのではないかと思った。

○樋口学校教育課長補佐兼学校給食センター所長

安芸市が通年受け入れる態勢を整えることが前提となっている。

○森尾委員

子どもだけでなく、保護者も一緒に来るので、過疎化や働き方にも影響のある取り組みだと思う。

○大坪教育次長兼学校教育課長

校長会でも共有したところ、2週間程度の受入なら構わないといった声がある一方、北川村でも検討されていたが実現は難しいという結論になった、といった声もあった。

○森尾委員

何度も転々とする子どもも想定されるなか、学校がどう思うのか、一つの課題だと思う。

○樋口学校教育課長補佐兼学校給食センター所長

「安芸市総合計画（前期基本計画）2026 素案」の確認を委員に依頼する。

以上

閉会 9時47分

(署 名)

教育委員

---

---

調製者

学校教育課 蔭山 智代